

文京区長
成澤廣修様

日本共産党 文京区議会議員団
福手ゆう子都政対策委員長 石沢憲之青年学生部長

新型コロナウイルスから区民の命と暮らし・営業を守るための緊急申し入れ

日頃の行政業務に加え、新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症が急拡大し重症者数も急増するなど予断を許さない事態となっています。文京区の新規感染確認数も1週間で71人と急増し、累計で853人(12/20 都福祉保健局公表)となっていますが、数字には表れない感染拡大も深刻です。感染抑止のために、無症状の方も含め陽性者を早期に発見することが必要であり、検査の抜本的強化や陽性者の保護・追跡が必要です。

この中で、区民の暮らしと営業は益々大変さを増しています。リーマンショック時を超える経済危機の下で自殺者が増え、年末年始に倒産・廃業に追い込まれる事業者の増加も予想されます。

今こそ区民に最も身近な自治体の役割が求められており、年末年始に区民が路頭に迷わないよう体制をとることを以下、要望します。

1、年末年始の体制強化について

- ①新型コロナウイルス感染症の影響で、生活困窮に陥るなどの緊急な相談に対応するため、江戸川区のように福祉事務所の相談窓口を年末年始の閉庁期間に臨時的に開所し、または電話等による相談体制を確保すること。
- ②年末年始に住まいを失う恐れのある区民に対し、東京都が確保している緊急一時宿泊場所の利用が可能であることを周知すると共に、区として活用を図ること。
- ③年末年始のクリニック等が休診となる期間も、発熱など新型コロナウイルスが疑われるような症状がでた方に、診察とPCR検査ができるような体制を医師会とも相談し確立すること。
- ④年末年始に診察や検査を行う医療機関に対して、葛飾区のように区独自の財政支援を行うこと。

2、PCR検査等の抜本的拡充について

- ①年末年始の休暇中の相談、検査、保護の体制を確保すること。
- ②定期的なPCR検査を介護、障害者施設だけでなく、保育園や学校の職員についても実施すること。そのために、検査会社の誘致も含めて検査体制を拡充すること。
- ③保健所について感染ルートの追跡を行う独自の職員の確保、保健師など専門職の増員を行うこと。その際、乳幼児健診や精神保健など通常業務に支障が生じないように、十分な体制をとること。
- ④陽性者や濃厚接触者について、ホテルなどでの保護を確実にできる体制を直ちに確保すること。
- ⑤ひとり親などの家庭内での感染によって、残された子どもなどについての保護を確実にすること。
- ⑥医療、介護、保育などの各施設が感染拡大に伴った感染防止対策ができるだけの衛生資材を確保できるように、支援を強化すること。

3、区内中小事業者の事業継続と地域経済を守る

- ①国に持続化給付金や家賃給付金の延長と再支給を実施するよう求めること。
- ②区が実施する中小企業事業継続支援補助金は申請を2月以降も受け付けると共に、再支給を実施すること。
- ③都の営業時間短縮要請について、各店舗の実態をつかみ必要な支援を行うこと。

4、生活に対する支援について

- ①国の制度では救済しきれない生活困窮区民に対し、区独自の貸し付けや給付を行うこと。
- ②区報ぶんきょうの全戸への配布を再開し、区政情報の情報格差を解消すること。

以上